



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成27年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンテスト

コード番号 6857 URL <http://www.advantest.com/JP/investors/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 黒江 真一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 管理本部長 (氏名) 中村 弘志

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	119,902	51.3	9,811	—	13,305	—	9,241	—
26年3月期第3四半期	79,251	△18.5	△34,404	—	△34,321	—	△34,148	—

(注)四半期包括利益 27年3月期第3四半期 28,163百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △18,893百万円 (—%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	53.05	47.96
26年3月期第3四半期	△196.12	△196.12

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	264,961	142,766	142,766	53.9
26年3月期	229,856	116,252	116,252	50.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	5.00	15.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	162,000	44.8	14,000	—	17,500	—	12,500	—	71.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	199,566,770 株	26年3月期	199,566,770 株
27年3月期3Q	25,291,042 株	26年3月期	25,368,828 株
27年3月期3Q	174,199,488 株	26年3月期3Q	174,113,609 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用	P. 4
3. 四半期連結財務諸表等	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
(3) 四半期連結包括利益計算書	P. 9
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報)	P. 11

〈添付資料〉

2014 年度第 3 四半期 決算（連結）の概要	P. 13
--------------------------	-------

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2014年4月1日～2014年12月31日)の状況 (単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期連結累計期間	2015年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	883	1,261	42.7%
売上高	793	1,199	51.3%
営業利益	△344	98	—
税引前四半期純利益	△343	133	—
四半期純利益	△341	92	—

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、着実な回復を維持した米国経済に支えられ、全体としては緩やかな回復が続きました。

半導体関連市場においては、2013年末以降に中国でLTEサービスが開始されたことを契機として、中国向け携帯端末に搭載される半導体需要が増加したほか、ハイエンド・スマートフォン新製品用の半導体生産が本格化したことで、生産能力増強に向けた設備投資が半導体メーカー各社で活発に進展しました。

このような事業環境のなか、当社はスマートフォン用半導体向けを中心に収益の伸長に努めました。その結果、受注高は1,261億円(前年同期比42.7%増)、売上高は1,199億円(同51.3%増)となりました。前年同期比での増収に加え、採算性の高い製品の売上比率が向上したことなどにより損益面は大きく改善し、営業利益は98億円、税引前四半期純利益は133億円、四半期純利益は92億円となりました。海外売上比率は91.7%(前年同期90.4%)です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期連結累計期間	2015年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	562	878	56.1%
売上高	515	801	55.6%
営業利益	△270	103	—

当部門では、中国におけるLTE基地局増設、中国市場向けスマートフォンの増産、新型ハイエンド・スマートフォンの販売開始などが半導体需要を喚起したことを背景とし、非メモリ半導体用テスト「V93000」の販売が好調に推移しました。またMPU向けのテストシステム需要も伸びました。

以上により、当部門の受注高は878億円(前年同期比56.1%増)、売上高は801億円(同55.6%増)、営業利益は103億円となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位: 億円)

	2014年3月期 第3四半期連結累計期間	2015年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	128	205	59.3%
売上高	100	202	101.4%
営業利益	△45	26	—

当部門では、半導体テストシステムの需要増に呼応して、事業連動性が高いデバイス・インタフェースやテスト・ハンドラに対する需要が伸びました。また半導体微細化の進展に伴うナノテクノロジー製品需要の伸びを着実に取り込みました。

以上により、当部門の受注高は205億円(前年同期比59.3%増)、売上高は202億円(同101.4%増)、営業利益は26億円となりました。

<サービス他部門>

(単位: 億円)

	2014年3月期 第3四半期連結累計期間	2015年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	195	179	△8.1%
売上高	179	197	10.0%
営業利益	21	24	16.4%

当部門では、リース需要の伸び悩みなどで受注高は前年同期を下回りましたが、フィールドサービス事業の収益拡大に向けた取り組みが順調に進捗しました。

以上により、当部門の受注高は179億円(前年同期比8.1%減)、売上高は197億円(同10.0%増)、営業利益は24億円(同16.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、前年度末比351億円増加し、2,650億円となりました。この主な要因は、現金および現金同等物、売上債権およびのれんが、それぞれ161億円、88億円および78億円増加したことなどによります。負債合計は主に未払法人税等、買掛金および未払費用がそれぞれ35億円、22億円および15億円増加したことなどにより、前年度末比86億円増加し、1,222億円となりました。また、株主資本は1,428億円となり、株主資本比率は前年度末比3.3ポイント増加し、53.9%となりました。

(キャッシュ・フロー計算書)

当第3四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より161億円増加し、851億円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益92億円を計上したことに加え、未払法人税等の増加(32億円)、売上債権の増加(△56億円)に、減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、125億円の収入(前年同期は、2億円の支出)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、9億円の支出(前年同期は、49億円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の購入(△25億円)および売却可能有価証券の売却による収入(18億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、16億円の支出(前年同期は、29億円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払(△17億円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

スマートフォンの高性能化と世界的な普及、およびデータセンター向けの半導体需要の伸長が、今後の半導体関連市場の成長を主導するものと予測されます。2015年は、スマートフォンやデータセンターに使用されるDRAMやNAND型フラッシュメモリが半導体市場の成長を牽引すると予想され、その環境下、半導体メーカー各社からの当社製メモリ・テストシステムに対する堅調な需要が続くものと想定しています。

当社は、2013年度より進めている2つの構造転換、ひとつは外部環境の変化に左右されず確実に利益を創出できるコスト構造への転換、もうひとつは経営資源を成長市場へ機動的に移す事業構造の転換、これらの構造転換を確実なものとし、一層の収益基盤強化と高収益体質への変革を図ります。

通期連結業績予想については直近の市場環境を踏まえ、2014年10月に開示した内容から以下のとおり修正します。売上高は各事業の見通しを踏まえ1,520億円から1,620億円へ、営業利益は120億円から140億円へ、税引前当期純利益は営業外損益の第3四半期連結累計実績に基づき137億円から175億円へ、当期純利益は80億円から125億円へ変更いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年12月31日)
資産の部		
現金および現金同等物	68,997	85,145
売上債権（貸倒引当金控除後）	20,404	29,231
棚卸資産	30,200	33,852
その他の流動資産	5,218	5,475
流動資産合計	124,819	153,703
投資有価証券	3,741	2,393
有形固定資産（純額）	39,925	39,334
無形資産（純額）	3,545	3,324
のれん	46,846	54,657
その他の資産	10,980	11,550
資産合計	229,856	264,961

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年12月31日)
負債の部		
買掛金	12,353	14,543
未払費用	6,775	8,268
未払法人税等	1,089	4,591
製品保証引当金	1,589	1,446
1年以内償還社債	-	10,000
前受金	2,488	3,013
その他の流動負債	2,313	3,537
流動負債合計	26,607	45,398
社債	25,000	15,000
転換社債	30,149	30,126
未払退職および年金費用	28,641	29,285
その他の固定負債	3,207	2,386
負債合計	113,604	122,195
資本の部		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	43,906	43,864
利益剰余金	130,740	138,002
その他の包括利益累計額	5,326	24,248
自己株式	△ 96,083	△ 95,711
資本合計	116,252	142,766
負債および資本合計	229,856	264,961

(2) 四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年 4月 1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年 4月 1日 至 2014年12月31日)
売上高	79,251	119,902
売上原価	45,913	53,342
売上総利益	33,338	66,560
研究開発費	25,294	22,814
販売費および一般管理費	29,380	33,724
減損費用	13,068	211
営業利益 (△損失)	△ 34,404	9,811
その他収益 (△その他費用)		
受取利息および受取配当金	169	150
支払利息	△ 104	△ 103
投資有価証券売却益	778	677
その他	△ 760	2,770
その他収益 (△その他費用) 合計	83	3,494
税引前四半期純利益 (△損失)	△ 34,321	13,305
法人税等	△ 171	4,064
持分法投資利益	2	-
四半期純利益 (△損失)	△ 34,148	9,241

(単位：円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年 4月 1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年 4月 1日 至 2014年12月31日)
1株当たり四半期純利益 (△損失)		
基本的	△ 196.12	53.05
希薄化後	△ 196.12	47.96

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2013年10月 1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2014年10月 1日 至 2014年12月31日)
売上高	19,613	40,959
売上原価	15,120	17,645
売上総利益	4,493	23,314
研究開発費	7,886	7,792
販売費および一般管理費	9,949	11,892
減損費用	13,068	211
営業利益 (△損失)	△ 26,410	3,419
その他収益 (△その他費用)		
受取利息および受取配当金	69	62
支払利息	△ 34	△ 35
投資有価証券売却益	202	118
その他	△ 761	1,724
その他収益 (△その他費用) 合計	△ 524	1,869
税引前四半期純利益 (△損失)	△ 26,934	5,288
法人税等	△ 2,125	632
持分法投資利益	0	-
四半期純利益 (△損失)	△ 24,809	4,656

(単位：円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2013年10月 1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2014年10月 1日 至 2014年12月31日)
1株当たり四半期純利益 (△損失)		
基本的	△ 142.42	26.73
希薄化後	△ 142.42	24.15

(3) 四半期連結包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年 4月 1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年 4月 1日 至 2014年12月31日)
四半期純利益 (△損失)	△ 34,148	9,241
その他の包括利益 (△損失) (税効果調整後)		
為替換算調整勘定	15,147	18,440
純未実現有価証券評価損益	△ 294	△ 302
年金債務調整	402	784
その他の包括利益合計	15,255	18,922
四半期包括利益 (△損失)	△ 18,893	28,163

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2013年10月 1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2014年10月 1日 至 2014年12月31日)
四半期純利益 (△損失)	△ 24,809	4,656
その他の包括利益 (△損失) (税効果調整後)		
為替換算調整勘定	9,428	11,779
純未実現有価証券評価損益	2	69
年金債務調整	31	252
その他の包括利益合計	9,461	12,100
四半期包括利益 (△損失)	△ 15,348	16,756

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月 1日 至 2014年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益(△損失)	△ 34,148	9,241
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費	6,831	3,769
繰延法人税等	△ 2,048	△ 75
ストック・オプションによる報酬費用	870	—
減損費用	13,495	211
投資有価証券売却益	△ 778	△ 677
売上債権の増減(△増加)	15,651	△ 5,617
未収入金の増減(△増加)	△ 126	779
棚卸資産の増減 (△増加)	311	△ 1,551
買掛金の増減(△減少)	△ 79	718
未払金の増減(△減少)	61	953
未払費用の増減 (△減少)	△ 1,310	1,096
未払法人税等の増減 (△減少)	△ 631	3,208
製品保証引当金の増減 (△減少)	△ 269	△ 216
前受金の増減 (△減少)	△ 662	493
未払退職および年金費用の増減 (△減少)	1,207	323
その他	1,458	△ 180
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 167	12,475
投資活動によるキャッシュ・フロー		
売却可能有価証券の売却による収入	1,418	1,806
子会社買収額 (取得現金控除後)	△ 1,272	—
有形固定資産の購入額	△ 5,096	△ 2,486
無形資産の購入額	△ 648	△ 307
その他	650	86
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 4,948	△ 901
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△ 3,369	△ 1,666
その他	501	114
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 2,868	△ 1,552
現金および現金同等物に係る換算差額	4,436	6,126
現金および現金同等物の純増減額 (△減少)	△ 3,547	16,148
現金および現金同等物の期首残高	45,668	68,997
現金および現金同等物の四半期末残高	42,121	85,145

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

単位：百万円

前第3四半期連結累計期間

(自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)

	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	51,299	10,031	17,921	-	79,251
セグメント間の内部売上高	161	8	-	△ 169	-
売上高	51,460	10,039	17,921	△ 169	79,251
調整前営業利益 (△損失)	△ 26,960	△ 4,530	2,095	△ 4,139	△ 33,534
(調整) ストック・オプション費用					870
営業利益 (△損失)					△ 34,404

単位：百万円

当第3四半期連結累計期間

(自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)

	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	79,972	20,217	19,713	-	119,902
セグメント間の内部売上高	80	-	-	△ 80	-
売上高	80,052	20,217	19,713	△ 80	119,902
調整前営業利益 (△損失)	10,255	2,620	2,440	△ 5,504	9,811
(調整) ストック・オプション費用					-
営業利益 (△損失)					9,811

単位：百万円

前第3四半期連結会計期間

(自 2013年10月1日 至 2013年12月31日)

	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	10,086	3,244	6,283	-	19,613
セグメント間の内部売上高	70	8	-	△ 78	-
売上高	10,156	3,252	6,283	△ 78	19,613
調整前営業利益 (△損失)	△ 23,175	△ 2,042	923	△ 1,684	△ 25,978
(調整) ストック・オプション費用					432
営業利益 (△損失)					△ 26,410

単位：百万円

当第3四半期連結会計期間

(自 2014年10月1日 至 2014年12月31日)

	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	25,047	9,117	6,795	-	40,959
セグメント間の内部売上高	14	-	-	△ 14	-
売上高	25,061	9,117	6,795	△ 14	40,959
調整前営業利益 (△損失)	2,351	1,906	872	△ 1,710	3,419
(調整) ストック・オプション費用					-
営業利益 (△損失)					3,419

(注) 1. 全社に含まれる営業利益 (△損失) への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2. アドバンテストは、ストック・オプション費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

2014年度第3四半期 決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

(単位:億円)

	2013年度 実績	2014年度実績						2014年度業績予想	
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	通期	前年度比
受注高	1,274	492	382	387	1.2%	1,261	42.7%	(1,550)	30.3%
受注残	320	444	404	381	Δ5.7%	381	49.4%	(350)	12.5%
								1,660	

(注)2014年度業績予想欄の上段は、2014年10月28日公表時の予想であり、下段は今回の予想です。

2. 損益

(単位:億円)

	2013年度 実績	2014年度実績						2014年度業績予想	
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売上高	1,119	368	421	410	Δ2.7%	1,199	51.3%	(1,520)	44.8%
売上原価	626	165	192	176	Δ7.7%	533	16.2%	-	-
研究開発費	327	74	76	78	2.0%	228	Δ9.8%	-	-
販売費および一般管理費	399	105	113	120	4.7%	338	14.8%	-	-
減損費用	131	-	-	2	-	2	Δ98.4%	-	-
営業利益 (売上高比率)	Δ364 (Δ32.5%)	24 (6.5%)	40 (9.5%)	34 (8.3%)	Δ14.3%	98 (8.2%)	-	(120)	-
営業外損益	9	8	8	19	123.8%	35	42.2倍	-	-
税引前当期純利益 (売上高比率)	Δ355 (Δ31.7%)	32 (8.7%)	48 (11.5%)	53 (12.9%)	9.6%	133 (11.1%)	-	(137)	-
法人税等	0	19	15	7	Δ60.0%	41	-	-	-
当期純利益 (売上高比率)	Δ355 (Δ31.8%)	13 (3.6%)	33 (7.7%)	46 (11.4%)	43.4%	92 (7.7%)	-	(80)	-
								1,620	

(注)2014年度業績予想欄の上段は、2014年10月28日公表時の予想であり、下段は今回の予想です。

詳細につきましては、本日公表しました「通期連結業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 財政状態

(単位:億円)

	2013年度 実績	2014年度実績			
		4Q末	1Q末	2Q末	3Q末
総資産	2,299	2,322	2,498	2,650	6.1%
株主資本	1,163	1,147	1,268	1,428	12.6%
株主資本比率	50.6%	49.4%	50.8%	53.9%	-

4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2013年度			2014年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	10.00	5.00	15.00	5.00	10.00	15.00

(注)最近の業績動向を踏まえ、期末配当予想を上記のとおり修正しました。

詳細につきましては、本日公表しました「通期連結業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。